



# 子ども会新聞

題字 山中 睦夫 氏

No.196号  
新春  
年4回発行

## 郷土愛は子ども会から

特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 齋藤 武  
〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル4階  
電話 03(3946)2340 Fax 03(3946-2341)  
HP: <http://www.kodomo-kai.jp/Tokyo/>

### ○理事長挨拶

今年度の研究協議会のテーマは、「メリットいっぱい！子ども会」〜子ども会中心から親子で楽しむ子ども会〜とさせていただきます。従来、子ども会活動は、「子どもの手による子どものための子ども会」の実現を目指して参りました。



開会式で挨拶する齋藤武都子連理事長

平成28年度東京都子ども会育成研究協議会が29年3月5日(日)、金子連・都子連・墨田区の主催で、曳舟文化センターに於いて開催されました。都内各地から約100名の参加者がありました。

平成28年度

## 東京都子ども会育成研究協議会

東京都墨田区・曳舟文化センター

### ○『基調講演』

基調講演はNPO 法人向島学芸理事長・佐原滋元氏によるもので、テーマは「子ども会活動におけるメリットとは？」でした。○最初に子ども達から「リーダー」と



墨田子連坂井会長の挨拶

主催区・墨田少年団体連合会長の坂井正廣会長の挨拶を受けて、育成研がスタートしました。

しかし、多様な生き方が問われる今日、子どもへのアプローチも多種多様であり、子ども会の加入率低下、主人公の子どもだけでは少人数となり休会とならざるを得ません。そこで、ネガティブからポジティブに！地域活動（とりわけ子ども会活動）をすることで、どのようなことが期待されるか（子どもも大人も）をお話していただきます。そして、その成果を今後の各市区連合組織、単位子ども会活動の一助となりますことを期待しております。

### ○『アトラクション』

地域の中に溶け込み、生活に潤いを与える音楽・ダンスを通してコミュニケーション能力を育み、周囲の人に楽しみと癒しを与える活動をしているユウミュージックの皆さんによるアト



ボイスカウトの体験談を通しての話が出ました

呼ばれてから45年。  
○私自身も、子ども達と関わり、親との関わりも変わってきました。  
○さらに、社会環境も大きく変わってきたと感じていますが、変わってきた部分や変わらない部分から、現在の課題を解決するための方向を一緒に考えてみたいと思います。  
○子ども会活動は、であいい。ふれあいい。つくりあげる。この3点が必要。  
○子ども会の中だけに止まらず、様々な連携を深めよう。  
○新しい仕組みを作っていこう。

ラクションです。



アトラクションはキッズダンスが披露されました

○表彰

平成27年度において、子ども会並びに子ども会活動にあたる指導者・育成者・に対して、その業績を表彰し、今後における子ども会活動の振興をはかる。

○子ども会

かしの木子供会（小金井市）

○ジュニア・リーダー組織

墨田区ジュニア・リーダーズ・クラブ（墨田区）

○指導者・育成者組織

蒲原地区少年団体協議会（足立区）

○指導者・育成者

本間和美（江戸川区）

山崎洋行（江戸川区）

織田弘子（足立区）

柳瀬 薫（江東区）

多田典子（小金井市）

○全国子ども会連合会 表彰・伝達

しおかぜクラブ（江東区）



今回は9人の方々の表彰が執り行われました

グループワーク（ワークショップ型）

午後はグループワークとして二つの部会が開かれました。

○育成者・指導者部会

テーマ【子どもだけでなく、保護者・育成者・地域の人々が楽しめるイベントを考えよう！】



育成者・指導者部会でのワークショップ風景

【事業名の紹介】

- 合同真冬のスポーツ大会。
- ベターウォーク大会（身体をフリフリ楽しく歩こう）。
- みんなが楽しむ運動会。
- 夏休みに学校に泊まろう。
- 秋の防災ウォークラリー。
- 写真を三世代で楽しむミュージックフェスティバル。

○ジュニアリーダー部会

自分がジュニアリーダー活動を終了した後、地域でどう関わってみたいのかを考え、そこに向かってこれからのような事をしていってほしいのかを考える。

●【理想のジュニアリーダーとはをイメージすると、どんな人？】

- こんな先輩みたいになりたい！
- どんな事ができると、理想のジュニアリーダーと言えるのだろうか？



ジュニアリーダー部会での熱心な検討・討議風

○全大会

育成者・指導者部会、ジュニアリーダー部会より夫々話し合いの様子や内容が報告されました。



リーダー部会報告

○講評

吉寄三義氏からは昨年度のテーマであった「原点に帰る」という視点からのお話をいただきました。石井幸夫氏からは子ども会活動では子どもを忘れてはならない、とのご指摘をいただきました。



吉寄三義・石井幸夫両氏から 講評を頂きました

○特別報告

「松原山荘について」

報告者・齋藤武理事長  
パワーポイントを使い、立地場所、改修状況や子ども会活動に役立つ使い方の説明がありました。



山荘のパンフ



# 第50回 全国子ども会育成中央会議・研究大会

久留米市 シティプラザ

平成29年2月17日から19日の期間、標記の大会が九州・久留米市において開催されました。

テーマは「地域のまち創りは子ども会から」子どもたちに残し、伝えたい自然と郷土伝統芸術

大会の骨子などが、副理事長の佐々木さんから寄せられましたので報告します。

早割で早朝に羽田空港を出発して二時間で福岡空港着。バスに乗り一時間余り、久留米かすりで有名な久留米市に到着しました。



全子連丸山会長の主催者挨拶（中央）

全国から集まった千名余の方が会場の久留米シティプラザに入って一様にびっくりしたと思いますが、東京の歌舞伎座の様な造りですばらしい会場でした。今回のテーマ「地域のまち創りは子ども会から」と題して開催されました。記念講演

演では「いま、大切にしたいこと」として、ご自分で作詞作曲された武末龍泰先生による「太陽のうた」「友だちであるために」などを、ギターの弾き語りで聞かせてくれました。小椋佳氏のようなすてきな声で自分が教育者としてかかわった事などを曲にして歌われていました。



昭和62年に結成した夢気球バンド



武末龍泰氏の講演

いま、伝えたいこと・・・『子どもたちは、もっとたくさんこのことを聞いてもらいたいと思っているのに、じっくり聞いてもらっていない子どもたちがたくさんいます。親子の距離感も、一昔前までは「遠くて近い」と言われていましたが今は「近くて遠い」と言われる様になっています。

しかし、子どもとおとなの間に変わらないことでもあります。それは、子どもはおとなの笑顔をおとなは子どもの笑顔をいつも待っていることです」と、



玄関前で、表彰者を囲み記念写真を撮りました

さて表彰式では東京都からは二名の方が受賞されました。二日目の午前中は六分科会に分かれて情報交換会です。

第一分科会は「子ども会の中で育つ子ども」子ども会が必要なわけ

三つ子ちゃんを含む三世帯5人の小さな小さな子ども会の事例は、つぶさないで続けていく努力をしている子ども会。

農作業（田植え・稲刈り）など学校では体験できない活動をしている。

地域住民とのふれあいが深まることで成長を見守っている。

また「大分県少年の船」二万六千トンの豪華客船で沖縄への四泊五日の船旅を通じて青少年の健全育成をめざして十七年続けている。一人四万円（本来は三十万ほどかかる）の個人負担で実施しているとのことでした。

また「なぜ、子ども会活動に子どもが集まらないのか」子ども会活動の意義

を見つめなおすための一考察など  
午後は各県子連の郷土伝統芸能活動がありました。中でも久留米市の子どもたちによるボデイパーカッションは会場の皆さんと一緒に盛り上がりました。

## 活動報告（郷土伝統芸能活動発表）

 佐賀県 巫女の舞	 長崎県 龍踊	 鹿児島県 山田楽	 大分県 神楽「正護」
 福岡県 田楽かけ	 熊本県 子ども歌舞伎	 福岡県 ボデイパーカッション	 沖縄県 創作エイサー

## 表彰（都子連関係者）

地域の子ども会活動を長年支えてくださった方々に対して、表彰が行われました。

- 小野田みち子（東京・足立区）
- 山本輝夫（東京・足立区）



# 都子連ニュース

□今までの都子連行事

▽第11回・理事会（1月21日）

『出席者』

齋藤理事長、阿部・佐藤・久保田・佐々木副理事長、滝井・古屋・塩澤・太田・吉野泰順理事。

議事録署名人、太田克己・吉野泰順。

『報告事項』

☆理事長・松原山荘の整備現状と課題。

○年始回り（全子連）。

○事務所の大掃除（正副理事長、林職員）。

○都議会議員との懇談（葛飾区・のがみ純子、江戸川区・上野和彦・足立区・友利春久）。

・担当部署の治安対策部の名称変更？

・育成研等の大会参加と挨拶

・子育て支援としての地域活動の支援

・事務員を雇える財政支援

・少子化による子ども会活動の支援

・今後将来の財政的、人的支援促進

○中学生職場体験発表会への参加。

○全子連安全共済会委員会へ出席。

『各部報告』

☆安全全部・○28年度安全教育推進事業は講師を確保できず不採用。

○安全会加入者数。○事故状況報告。

☆事業部・○28年度都子連育成研の取り組みと進捗状況。

☆財務部・

☆広報部・○都子連新聞（192号発行済）。

☆総務部・○職員採用は難航。取り直し？

『協議事項』

☆28年度・都子連育成研について。

・研修テーマ「メリットいっぱい！子ども会」。

・サブタイトル「子ども中心から親子で楽しむ子ども会」。

・基調講演は研修テーマに沿った内容を、佐原滋元（墨田区NPO法人向島学会理事長）講師。

・参加者及び表彰者の確認を急ぐ。

☆松原山荘の運営方法について。

○貸出方法の検討。

・料金設定（全国青年の家・1泊800円前後、他に食料代及びシート代）

・利用料金の案は左記のとおり

加盟団体		未加盟団体
日帰り	500円	700円
1泊2日	1000円	1300円
2泊3日	1500円	1900円
3泊4日	2000円	2500円
4泊以上	2500円	3000円

・予約は予ネット予約導入を検討

・鍵の受け渡しの方法検討

・インシシ対策として、電気柵設置

・草刈り等のメンテナンスは、都子連が

月1回程度の頻度で実施

・お披露目の実施を2月28日、加盟

団体の皆さんと所有者（小金井市社会

福祉協議会）で現地開催（28名

武蔵小金井から大型バスで移動



1階は原形のまま利用可能（間仕切り用の蛇腹増設）



2階トイレ増設



山荘の全景（左手前は炊事棟、右上は宿泊棟）



山荘直下の河原視察（冬は水量が少なく川遊びが不可だが夏は可能！）

□編集後記

いよいよ、松原山荘の運営が4月に始まります。施設の目的が、日帰り施設から簡易宿泊施設に衣更えしたことで、建築関係の各種基準に合わせて、トイレや間仕切りの増築、給排水設備や炊事用野外設備を充実しました。

山荘の下には秋川の源流が流れています。都会では経験のできない、川遊びや、マスつかみ取り等で遊ぶこともできそうです。

また、近くには弘沢の滝（都内で唯一の「日本の滝百選」に選定されている名瀑）、神戸（かのと）岩は東京都の天然記念物に指定されています。溪谷の散歩は、プチアドベンチャーのようで、ワクワクします。

昌酒